

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成 28 年度第 10 回（1 月）理事会 議事録

- ◇ 日 時： 平成 29 年 1 月 12 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 10 分
- ◇ 会 場： 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 竹浦、吉本、高田、田畑、井戸田、出野、酒井、清水、山田、山西、杉山、増田、久保田、梶、岡本、上田、井口、安保、柴監事、荒木監事、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者： なし
- ◇ 議 長： 竹浦

【 討議内容 】

I. 行動報告（12 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技関係

12 月 17 日（土）に理事会を開催した。

- ・ 宮城県支部幹事が、斎藤 和榮氏（旧）から大森 智子氏（新）に変更となった。
- ・ 中四国支部臨床微生物部門研修会における赤字 140,216 円（開催間際のカラーコピー代）を補填した。
- ・ 理事会運営規程を一部改正した。
- ・ 会員加入保険について、現在ある A タイプと B タイプを平成 29 年 6 月 1 日より A タイプのみとし、コンビニからの振込者も保険適用とすることとした。
- ・ 被災会員 284 名に対し共済制度委員会で審査した結果、全員を承認した。

2. 事務局

〈総務部〉12 月 14 日（水）に部会を開催した。

- ・ 「年輪Ⅵ」の発行について協議した。
- ・ 大臨技ニュース 12 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを随時更新した。

〈会計部〉12 月 14 日（水）に部会を開催した。

- ・ 11 月度収支計算書を作成した。
- ・ 事務員 12 月給与・賞与を送金した。
- ・ 大臨技医学検査学会の口座を開設した。

〈渉外部〉12 月 20 日（火）に部会を開催した。

- ・ 府民健康フォーラムの報告を行った。
- ・ HIV 予防啓発講演会について報告を行った。
- ・ 大臨技・大放技合同フォーラムの進捗状況について説明を行った。
- ・ 平成 28 年度がん検診フォーラムの進捗状況について説明を行った。
- ・ 献血推進活動の進捗状況について説明を行った。

3. 事業局

〈情報組織部〉12 月 16 日（金）部会を開催した。

- ・ 大臨技医学検査学会とチーム医療実践セミナーの進捗状況について報告した。
- ・ 技師長会と来年度「新人の集い」の役割分担について討議した。

〈地区事業部〉12 月 15 日（木）に部会を開催した。

- ・ 施設連絡者会について検討した。
日時：平成 29 年 3 月 18 日（土）14：00～16：30
場所：大阪市住まい情報センター3 階ホール
内容：①日臨技報告(竹浦会長)、②AI について(NEC 担当者)
広報：①大臨技ニュース 2 月号・3 月号に掲載する。
②施設連絡者宛に葉書を送付する（2 月部会で最終確認後）
終了後、意見交換会を行う。

〈学術部〉12 月 27 日（火）に部会を開催した。

- ・ 理事会報告を行った。
- ・ 会計部長より会計上の注意説明がなされた。
- ・ 平成 29 年度事業計画・予算書提出について説明した。

III. 他、報告

1. 「年輪VI」の発行について（酒井常務理事）
 - ・ 各担当者に依頼した原稿はほぼ収集済みで、今後、原稿の最終確認と編集を行う。
2. 平成 28 年度大臨技・大放技合同フォーラムについて（増田理事）
 - ・ 平成 29 年 1 月 21 日（土）14：00～17：00、住友病院にて開催する。
テーマ：乳がん早期発見と早期治療 見つけるひと・治すひと
定員：150 名（先着）
 - ・ 当日の各理事の参加を確認した。
 - ・ 12 月 16 日の朝日新聞（朝刊）告知欄に開催案内を掲載した。
3. 平成 29 年秋の叙勲申請について（吉本副会長）
 - ・ 当会元会長の朝山 均氏の叙勲について大阪府を通じ申請した。
 - ・ 大阪府より推薦種別を叙勲Ⅱ類から叙勲Ⅰ類への変更指示があったため変更した。
4. 平成 29 年度「小島三郎記念技術賞」・「福見秀雄賞」の推薦依頼について（吉本副会長）
 - ・ 推薦する該当者がいる場合、1 月末日までに吉本副会長へ連絡する。
5. 医療施設検査部門の精度保証と施設認定について（竹浦会長）
 - ・ 日臨技において、遺伝子関連検査の品質・精度確保についての論点より端を発し、医療施設検査部門の精度保証と施設認定について議論された。これを受け、次期通常国会において閣法として審議予定の「臨床検査技師等に関する法律及び医療法の一部を改正する法律案」において、宮島会長が審議に加わり検体検査の品質・精度保証確保のため審議することとなる。
 - ・ 当法が成立すれば、日臨技から都道府県技師会に協力を求めることとなる。

IV. 議 題

1. 大臨技医学検査学会運営委員会について（増田理事・梶理事・浅田実行委員長）
 - ・ 浅田委員長および担当理事より、第 12 回実行委員会（12 月 19 日（月）開催）と進捗状況について報告があり承認された。
 - ・ 12 月 21 日に会場（グランキューブ大阪）にて当日運営等の確認を行った。
 - ・ 1 月 23 日に抄録集の打ち合わせを行う。
 - ・ 抄録集の見積が想定額を上回ったため作成会社と交渉する予定である。
 - ・ プログラムを一部変更した。（開会式を 9 時 50 分から開催する。）
 - ・ 電気配線工事と企業展示のため、会場を前日の 20 時から借りることとした。
 - ・ 多目的広間（ホワイエ）を展示会場として使用するため、利用料が発生することとなった。
 - ・ 当日運営スタッフの応募は 24 名あった。
 - ・ 会場費が見積額より増額した。

2. 立ち入り検査について（竹浦会長）
 - ・ 1月26日（木）に実施される大阪府からの公益法人認定法に基づく立ち入り検査における準備書類等について確認を行った。
 - ・ 当日は、当会より会長、副会長2名、会計部長、総務部長、監事2名が対応することとした。
3. 日臨技「臨床検査技師のために認知症対応力向上講習会事業」について（竹浦会長）
 - ・ 日臨技より、「臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会事業」において、日臨技主催の企画担当者講習会（講習会 A）と都道府県技師会との共催により都道府県単位で開催する講習会（講習会 B）の実施要領について通知があった。この事業に際し、講習会 A の企画担当者（認定認知症領域検査技師制度の認定者）を各都道府県技師会より1名ずつ推薦する。
 - ・ 当会からの講習会 A の担当者の推薦については、竹浦会長に一任することとなった。
4. 後援申請について（吉本副会長）
 - ・ 第24回 SP 研究会の後援申請があり承認された。
5. その他
 - 1) 賛助会員施設の臨床検査技師の扱いについて
 - ・ 総務会計部会で検討することとした。
 - 2) 日臨技広報用領布品について
 - ・ 日臨技から広報用領布品の在庫分分配の打診があり、当会からも必要部数を請求することとした。

以上